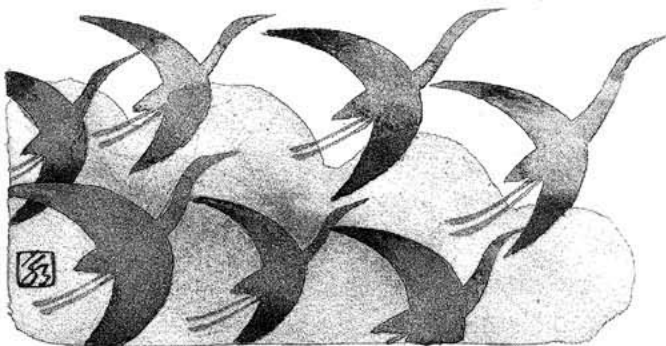




三笠NEWS

三笠ニュース

●あなたと三笠をむすぶホット情報

PR毎報/年4回発行
発行所 三笠産業株式会社
郵便番号101-0064 東京都千代田区猿樂町1-4-3
電話03(3292)1411大代表 ファックス03(3233)0530



年頭のことば

代表取締役社長
京谷 弘也

新年あけましておめでとうございます。皆様にはご家族様共々お揃いで佳き新年をお迎えのことと存じ、心よりお慶び申し上げます。

さて今年は記念すべきミレニアムイヤーと言うことでキリスト教徒を中心とした欧米では各種記念行事が目白押しようです。我々日本人にとっては21世紀幕開け前の序章と言う感覚だけで、何を祝って良いのやら甚だピンとこないところがあります。

しかし、流石何でもありの小渕政権。早速ミレニアムプロジェクト（千年紀事業）と称する特別予算を編成しました。情報通信、環境、高齢化の3分野への特別予算の重

点配分がその中身ですが何も今更ミレニアムプロジェクト（千年紀事業）と仰々しく銘じるまでもなく、これは世の中の当然な流れのような気がするのですが…。従来の国家プロジェクトのように目立った研究成果もなく、予算のムダ遣いに終わらないことをただただ祈るばかりです。

ともあれ2000年に突入しました。1990年代の十年間、日本経済は景気回復への期待と失望が繰り返され、確固たる成長軌道に乗れないまま時だけが過ぎてしまった感があります。振り返って我が社を見ても同様の想いです。やり残した事、やるべきだった事、いろいろ思いつきますが今更反省をしても仕方がありません。企業にとって一番大切なのはこれからの成長力。過去の実績や資産に甘えることなく、これからの十年を見つめてしっかりと成長シナリオを描き、確実に実践していきたいと思ひます。

年頭に当たり、皆様方のご健勝を心からお祈り致しますと共に、本年もよろしくご支援とご指導、ご叱正を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



新しい年を迎えて「明けましておめでとうございます」と改まって言っても、七十回を超えると感懐も稀薄となる。

これではならじと心に活を注ぐつもりで書棚から取り出したのは、ミレニアムならぬ十数世紀の昔、日本最古の歌集「万葉集」だった。

あらた
新しき 年のはじめの
初春の 今日降る雪の
いや重け吉事 (巻二十)

この歌は天平宝字三年正月一日に因幡の国庁で催された新年の宴で、大伴家持が詠んだという。新年初春の今日さかんに雪が降っている。雪は豊年のしるし降り積もる雪、その兆しのように、いよいよ積もりに積もれ佳き事が。

リズムミカルな「の」の重複が心地良くひびく。だが、万葉学者の中にはこの歌の中に作者の悲痛な願望が込められていると説く者もいる。迫りくる厳しい時代にそなえ大伴一族の長としての深い祈りだという。

この歌の碑が立つ鳥取市近郊の因幡国庁跡は名高い万葉ファンの聖地で、わが三笠のカレンダーを描く永井郁画伯も訪れて著書「万葉の道」に記載しているが、家持の心情悲願については多くの学者説を踏襲していた。

こうした万葉学者の定説をくつつがえす注釈もあるが、古代の歴史の中にわけり、真実を探るためには、更なる時間を必要とするであろう。

ともあれ万葉集最高の歌人大伴家持はこの歌を最後に於いて、万葉集の巻を閉じた。以後の歌は一首も残されていないが、それは大いなる未来への希望を託した雄渾な構想のものであったであろう…。

短時間ではあったが久々の机上の万葉散歩は楽しかった。どうぞ本年もよろしく三笠をご愛顧いただきますようお願い申し上げます。

わずに抜群の走行性を実現し、このクラス最高水準の性能を発揮するプレートコンパクターです。ご期待ください。

軽量級 MVC-40G

プレートコンパクター 完成!!

長年に亘り皆様に御愛用戴いております、三笠プレートコンパクターシリーズの中で、最も軽量でありますMVC-40F型プレートコンパクターの後継機として、新設計による40kg級プレートコンパクターMVC-40G型が完成いたしました。

MVC-40Gは輾圧盤に高強度のグタイル铸铁を使用し、起振体一体化構造を採用しましたので耐摩耗性に優れるとともに、機体の重心を低く抑えることが出来ました。

低重心化により、硬い路面での安定した走行性や走行速度の向上(約20%)及び、軽量化を実現しました。輾圧盤の磨耗に対しては材質だけでなく、減りやすい部分の厚さを増やしています。

また、MVC-88G型プレートコンパクター等で定評のある、輾圧盤の内部に入った土砂を、振動により外部に排出する、セルフクリーニング構造も採用していますので、使用後の清掃も容易になりました。

さらに、特殊形状の振子軸（特許出仕 様

型 式	MVC-40G
機体寸法	全長 840mm
	格納時 495mm
	全高 810mm
	格納時 920mm
フック高さ	510mm
	全幅 285mm
輾圧盤寸法	幅 285mm
	長さ 410mm
装備質量	40kg
性 能	走行速度 22~25m/min
	振動数 103Hz(6200rpm)
	遠心力 71.5kN(730kgf)
	型式 ロビン・EY08D
原動機	機関形式 サイドバルブ式4サイクルガソリンエンジン
	最大出力 1.5kW(2PS)/4200min ⁻¹
	セット回転数 4000min ⁻¹
	潤滑油 自動車用ガソリンエンジンオイル
始動方式	リコイルスターター
燃料タンク容量	1.5リットル



願中)の採用により、起振体の発熱を抑えると同時に、回転抵抗を大幅に低減する事が出来ました。これにより、エンジンの負担や、起振体ベアリングの磨耗、オイルの劣化などを抑える事ができ、耐久性が大幅に向上するとともにメンテナンスにかかる手間や時間が低減されました。

ベルトカバーにつきましても、MVC-60V型・88G型プレートコンパクターと同様に、ゴムカバーによる全閉構造にしましたので、安全であることはもちろん、石跳ねや異物巻き込みによるベルトの損傷を防ぐことができます。

ハンドルは大型ストッパーゴムを採

用し、手元の振動を低減しています。移動や運搬が楽にできるように、取っ手を前後に設けると共に、一点吊りフックも常設しております。

2000年に向け、プレートコンパクターを新規開発するにあたり、「お客様がプレートコンパクターに求める性能とは何か?」「お使い下さるお客様の立場に立って考え製品を作ること」という、基本であり最も重要な方針を開発テーマとし、検討を重ね完成致しました。

三笠の技術力を小さなボディに結集させた、低重心のMVC-40G型プレートコンパクターは、狭い溝での輾圧ができると同時に、硬路・軟路を間

三笠のどしアンケート

【質問】

- ① タツ(または辰年)にどんなイメージを持っていますか。
- ② 自分の性格にタツ年生まれを感じることがありますか。
- ③ エトが人の性格に影響すると思いますか。自分のエトがタツで良かったと思いますか、それとも他のエトが良かったですか。
- ④ 年男男女としての抱負をお願いします。



加瀬美津雄(かせみつお)
昭和27年4月12日生まれ
海外営業部二課

- ①この世に現存しない架空の動物なのでいかようにも想像できる訳ですが「勢い」、「勇壮」というイメージがあります。一方でタツの代用で少なくとも30年前には東京湾にも存在したタツノオトシゴからは「のんびり」、「自由奔放」というイメージもあります。
- ②想像上の動物のせいか特に強く感じる事はありませんが「勇壮」にして「自由

- 奔放」でありたいと思う事はあります。
- ③いい意味で影響していればいいなと思う事はありますがどうなのでしょう？そういう意味では辰年で良かったとおもいます。
- ④公私にわたり常にプラス思考且つ前向きな姿勢で何事にも取り組んでみたいと思っています。



木村智生(きむらともお)
昭和27年9月8日生まれ
品質管理部

- ①十二支の中で唯一、想像上のエトな

ので、イメージはしにくい、悪を嫌い威嚇し、火を噴きながら自由に空を舞う。

- ②ありません。
- ③影響はしない。タツ年で良かった。空を自由に飛ぶことが出来、架空の動物なので夢が広がる。
- ④何事に対しても、昇り竜の如く、一気に事は成せないと思うので一日一日の積み重ねを大事にし、この一年を過ごして行きたい。



千葉千加子(ちばちかこ)
昭和51年7月29日生まれ
総務部総務課

- ①中国・西洋の神話。日本の昔話。寡黙で大きな力を持つてる。
- ②タツは、雲雨を支配する鬼神とされているそうですが、私自身、かなり良い確率の「晴れ女」なので、タツ年生まれのおかげなのかもしれません。
- ③影響があったほうが面白いと思います。タツは想像上の動物なので善悪のどちらにでもとれるキャラクターだと思うので、微妙なところだ

が、豪快で豪華な感じがするところは好きなので、良かったと思います。

- ④2000年初めの年が自分の干支なので、素晴らしい記念になる年にしたいです。



井下田沙弥香(いげたさやか)
昭和51年10月22日生まれ
海外営業部一課

- ①強い、大きい、強情、気性が荒い
- ②「竜」というのは空想上の動物で自分の性格と較べるのは難しいのでインターネットで検索してみたところ自負心が強く、強情で気性が激しく、誰が何と言っても突進する性質ということでした。
- ③影響すると思います。もう少し女の子らしい干支が良かったです。
- ④今年は記念すべきミレニアム！この年を自分の干支である「辰」で迎えられるのは私にとってとても素晴らしいことだと思います。この「辰」の性質を仕事でもプライベートでもいい方向に持っていけたらと思います。

部品サービスセンターを増築

本社内にあった営業サービス部が当地に移転し、部品サービスセンターとして発足したのは、1987年(昭和62年)6月のこと。創立50周年記念行事の一環として行われ、部品供給と修理のアフターサービス機能の充実をはかるのが目的でした。

それから13年が経過し、初代の所長でありました京谷社長も当時を振り返り、扱っていた部品点数が本体部品で約4,000点、エンジン部品を入れても6,000点余りで、当初は充分余裕が感じられ、売上も現在の半分弱位であったとのこと。それが現在ではパイプロコンパクターのシリーズ化やタンピングランマーの4サイクル化、油圧ローラー等の新製品が続々投入され、また既存製品も搭載エンジンのOHV化への移行等改良が加えられ、部品点数も増加の一途をたどって来ました。そして、今では売上も当時の倍以上、部品在庫は常に、1万数千点に及んでおります。従って、現状では手狭となり一昨年より増築が検討されて来ましたが、昨年の夏着工、10月に竣工の運びとなりました。

増築倉庫は既存倉庫建築時に増築を考慮していたため既存の部分に同じ形で繋げ、床面積で127.5坪(421㎡)増加、センター全体の建物の規模は約417坪(1,377㎡)となりました。

新倉庫の内部は奥の1/2が中二階になっており、その下の一階部分には部品棚を設置しました。棚の内部にはタンピングランマー、プレートコンパクター、油圧パイプロコンパクター、パイプレーションローラー等のメイン部品が入り部品の取出し、収納業務が敏速に行われるよう配置しました。



中二階部にはハンドル類、エンジンASYのダンボール収納品がおかれていて、これらの出し入れに1,000kg搭載可能な油圧式のリフトが設置されています。前側の半分は梱包作業場となっており、そこにはスーパー等で使用されているカゴ車が各運送業者別にあり、運送業者は直接自分の車両まで荷物を移動し積込んでおります。倉庫出入り口の下屋も広く取り、雨天時の積込みが楽になりました。

部品増加に伴い、受注、売上、仕入、部品の在庫管理等の事務処理が複雑になっておりますが、当センターはこれらの処理をすべてコンピューターシステム化しており、顧客管理の徹底を図っております。

部品課では常に即納体制が出来るように、要求部品の在庫切れが無きよう行動し、顧客に迷惑をかけないように心掛けております。

サービス課においては修理品の見積及び修理の敏速化、新製品、既存製品

の修理指導、クレーム調査等のアフターサービスを基本に頑張っております。

何とぞ当サービスセンター一同、今

まで以上顧客サービスに邁進していく所存でありますので、今後ともご指導ご鞭撻の程、お願い申し上げます。

営業サービス部 丸山記

'99海外研修旅行 グランドキャニオンに感嘆！

三笠産業の海外研修旅行も長年続いておりますが、今回は初めてアジアを飛び出し、アメリカ西海岸・ハワイ周遊7日間(9/18~9/24)という、行く先だけ見れば非常に豪華で欲張りなツアー(新婚旅行と勘違いしているのではないかととも言われました)に、これまた構造不況のこの業界にありながら、8人のメンバーで行ってまいりました。

さて、私はと言いますと、前日、鬼怒川温泉で行われた東京三笠レンタル会の余韻が覚めやらぬせいか、レンタル会のときから旅行モードに入ってしまったのか、遠い距離をもう既に移動している様なしていない様な錯覚に囚われながら、時差ボケしている様な面持ちで、成田を旅立ったのでした。

夕方4時頃に日本を発ち、朝のロサンゼルスに着き、専属ガイドさん(豪華!)に貸切りのミニバンで最初に案内されたのがマリーナ・デル・レイでした。その、朝の人気も疎らなマリーナで、桟橋にクルーザーが融け込む風景や、爽やかな清々しい空気を満喫するでもなく、我々メンバーが最初にしたこととはと言えば、朝開いたばかりのスタンドに行きビールを買うことでした。ガイドさんにも呆れられ、初っ端にしてこの旅行の全てを物語ってしまいました。もちろん1日目の観光の終わりにはドラックストアに寄ってもらい、そこでウィスキーやらつまみや



ユニバーサルスタジオにて

らを買込みホテルに帰るのでした。(せっかくの旅行なのに、ホテルのバーで呑め!)

前の日に寄った、見ただけで具合が悪くなってしまう人もいる様な巨大なステーキを出してくれた、ちょっと薄汚れたアルコール類も置いていない(これが一同かなり不満だった)地元の人達で混み合っていたステーキ屋さんを話題にしながらの朝食もそこそこに、行き先を欲張ったハードスケジュールの為、午前中にロサンゼルス最後の立ち寄り先、ユニバーサルスタジオに向いました。

ここでは、乗る物(ジェラシックパーク)、観る物(ウォーターワールド)ことごとく頭からバケツをひっくり返した様な水を浴びてしまい、時間の無い私達は濡れネズミのまま次の滞在地球ラスベガスへと向いました。

夕方近くに着し、部屋に荷物を置いた後夕食に出かけ様と繰り出したメインストリートは、フーバーダムの発電所はこの為に造ったのかと勝手な→

三笠建設機械株式会社の18名 『工場見学・研修会』に来社

市場も活況を呈して忙しさも深まり行く秋、昨年に引き続き三笠製品の西日本の総発売元である三笠建設機械㈱の営業スタッフ、特に今年はフロントを含めた若手の方を中心に弊社へお出で戴き、今年も「工場見学・研修会」を実施させて頂きました。

製販一体となっておりますので、事ある毎にお出で願っておりますが、改めて三笠製品を社員の方々に見て戴きました。

平成11年11月4、5日の第一班から四班に分かれ、大阪本社・中部営業所・四国営業所・九州営業所から総勢18名の方が弊社館林工場、春日部工場、技術研究所、部品サービスセンターへの「工場見学・研修会」に参加願えました。

技術研究所では、高野所長を始めとする各スタッフが、MT-52FW型タンピングランマーにMT-50W型用の四角いフットを取り付けたものを用意し、実際に砕石や堅い面を叩き比べ、通常の八角形フットの方が安定して人に優しい取り扱いを得ている事を体験して戴いたり、2000年に発売のMVC-88GR型を実際に使用しその良さを確認して戴きました。又、普段ではお目にかかれない重機取付けの油圧バイブレーターや三笠の真髄である新製品の開発状況や耐久テスト等を事細かくご覧戴きました。又、お持ち戴いた要望事項に関しては、活発な意見のやり取りが有りました。

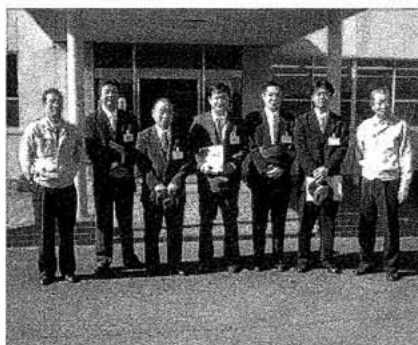
更に、工場では館林工場の十九浦工場長や春日部工場の小森工場長及び長谷川常務がISO9002認証工場を取得し整理整頓された工場内を案内し、マシニングセンター等の加工やバイブレーターを始めとするランマー・プレート・バイブレーションローラー・コンクリートカッター等の組立ライン、コンピュータ管理された最新設備の見学及び研修をして戴きました。また「強度・耐久性を

必要とする部品は、焼入れした鉄材、アルミダイキャストでは無く鍛造品を使用している」との説明がありました。

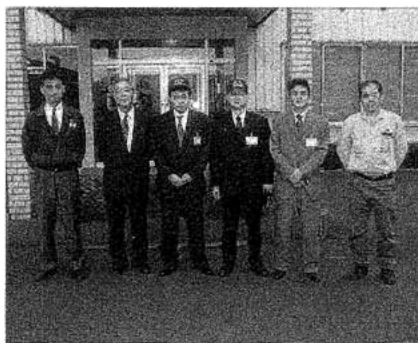
部品サービスセンターにては、コンピュータによる部品の入庫管理及び整備用設備や整備用計測機器の開発等について講習致しました。

最後に本社に立ち寄り、京谷会長及び京谷社長に面談して戴きました。活況となる忙しい中、短時間の研修でしたが、三笠製品に対する理解を更に深め今後の販売活動に生かして戴ければ幸いです。お忙しい中ご参加くださいました社員の方々には重ねて御礼申し上げます。

西販課 川島記



第一班



第二班



第三班



第四班

株式会社カナモト 首都圏の拠点浜松町Kビルが完成

北海道、東北、関東をはじめ全国的にわが社の製品をご採用頂いているカナモト(金本寛中社長)様では首都圏の拠点として「浜松町Kビル」の建設を進めておりましたが、このほど完成され、去る11月29日に新ビル見学会が行われました。

引き続き東京内幸町の帝国ホテルに関係者260名を招き、盛大に竣工記念祝賀会が挙行され、わが社からは京谷会長、京谷社長と筆者3名が出席し、丁重にお祝いを申し述べました。

浜松町Kビルは交通アクセスに恵まれた東京都港区芝大門にあり、モノレール、JR浜松町駅から徒歩5分と至便な場所にあり、規模はSRC造地下1階地上7階建て、延べ面積1,789平方メートルのインテリジェントビルです。

地下1階と地上1階が情報機器営業部、2階から5階がテナント、6階が東京事業本部・レンタル事業部それに首都圏営業課となっており、最上階に会長室及び応接室が設けられている。屋上には同社が国内販売権を取得した「超小型マイクロガスタービン発電機＝出力30kW」が日本で初めて設置さ



金本社長と浜松町Kビル

れている。

祝賀会で金本社長は「首都圏で自前のビルを持つことが悲願だった。ここに新生カナモトのシンボルが誕生した」とKビル完成の喜びを語られた。

来賓を代表して宮内オリックス社長が「新事業にも意欲的に挑戦し時代の流れにも対応していく先見性がカナモトさんの特長で、新世紀に向かい世界のカナモトへ発展することを確信する」と挨拶され、片田コマツ会長は「金本太中会長とは個人的にも親しくさせて頂き、また新社長の構想力にも事業展開力にも敬服している」と祝辞を述べられた。続いて設計の創建社と施工者の鹿島建設に感謝状が贈られ、瀬口

日立建機社長の発声で乾杯し、新生カナモトの発展を祝いました。

国内営業統括部 佐潟記

三笠親和会 箱根・熱海の旅

10月8日(金)、全国の事業所より集まった総勢約130名の社員はサロンバス4台に分乗して、まずは最初の目的地箱根芦ノ湖に向けて東京駅前を出発。1999年の三笠親和会旅行は、近場でのんびり、ゆったりとということで箱根・熱海の旅に決定したという次第。

バスの中では地方の営業所から持ち寄った珍味を味わいながら、早くも宴会の前哨戦が始まりました。

芦ノ湖で昼食を済ませた後海賊船に乗り、紅葉にはまだ早い原生林や湖に浮かぶ箱根神社の赤い鳥居など美しい景色を満喫しました。

途中十国峠に立ち寄って本日の宿、熱海後楽園ホテル・タワー館に到着。ホテル名物の大展望風呂にゆっくりと浸かって日頃の疲れを癒した後、懇親会の酒盛りが始まりました。昨年の親和会以来一年ぶりに再会する人も多く、宴会は二次会・三次会へと進み、熱海の夜は更けてゆくのでありました。

サービス課 大久保記

納得をしてしまう程の数々の電飾とスケールの大きなアトラクションで溢れており、初めて訪れた者としては、ギャンプルとエンターテイメントの為だけに、これ程の物を創れてしまうのかと、感心させられるばかりでした。

夜中になっても人通りの減らない道々をホテルに戻り、いよいよ明日は、この旅行の一番の目玉グランドキャニオン観光だなあ、などと考えながらスロットマシンとルーレットに無け無しの小遣いを叩いてしまい、寂しく部屋に戻ったのは、私一人だけだった様です。

途中の結構揺れる飛行機で辿り着いたグランドキャニオン国立公園、やは



グランドキャニオンにて

り聞きしに勝るスケールで、なかなか言葉には表せないものがあり、単独行動をついついしてしまう私は、ここでも一人壮大な景色を眺めながら人生について考えながら(ぜんぜん似合わない)、ボーとしていました。しかし、団体行動の悲しさで、遠くのほうで名前を呼ぶ声がしてそちらを見ると、何や

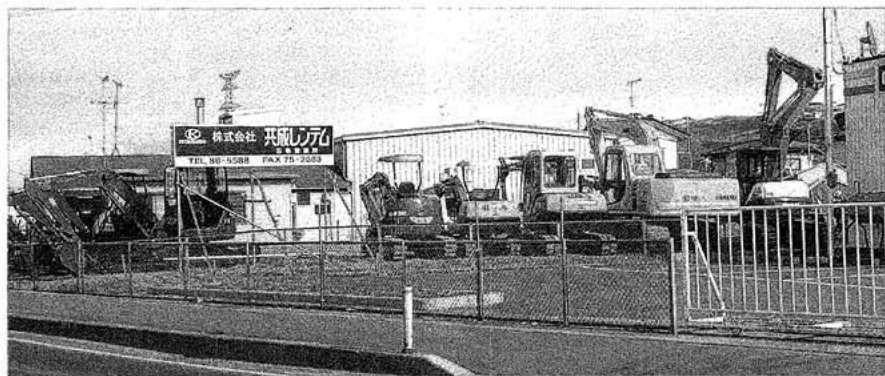
ら見たことのある人達が手招きをしています。何でもみんなで集合写真を撮るとの事。一瞬、めんどくさいなどと勝手なことを考えたものの、この景色はやっぱり全員で写真に収めておかなければいけない、と思い直し、かくして三笠産業海外研修旅行で初のグランドキャニオンの記念写真が残りました。

素晴らしいグランドキャニオン国立公園をあとに、ラスベガスへ戻った私達は日本食レストランで食事を取り(ここまで日本食を食べていなかった)ダウントウンへと繰り出しました。ここも、メインストリートとはまた一味違った意味で活気があり、毎日お祭りが来ている様な人だかりと絢爛さの

中で、もうすっかり、帰国した後に待っている月末の売上のことなどは忘れてしまっていたのです。(おそらく、8人のメンバー中5人いる営業マン全員そうだと思う)

一同、リラックス気分最高潮のまま、丸一日かかった移動時間もさほど気にせず、実質滞在1日間ちょっとという、リゾートにしては寂しい滞在期間だったハワイも充分堪能し、全日程を終了した海外研修旅行から、日常生活と仕事(ちょっとガックリ)の待っている日本への帰国の途についたのです。最後に一緒に旅行に行った7人の皆さん、留守中ご迷惑をお掛けした関係各所の皆様、ありがとうございました。

横浜課 山根記



(株)共成レントム 石巻営業所開設

(株)共成レントム(本社・北海道帯広市)さんではこのたび東北では6番目となる石巻営業所(所長 三塚充氏ー仙台営業所長兼務)をオープンされ、平成11年11月15日より業務を開始されました。

石巻市は気仙沼市や塩釜市と同じ遠洋漁業の基地であると同時に東北の太平洋沿岸地域では八戸、小名浜と並ぶ工業港であり、近年その発展ぶりはめざましいものがあります。しかしながら仙台圏とのアクセスが距離の割に時間がかかりすぎるとの指摘もあり、遠い存在でありましたが、三陸自動車道の延伸に伴い時間的には1時間足らずで行き来できるようになり、仙台経済圏の一翼を担うのみならず、南三陸の玄関口としてますますその重要性が増していくものと思われまます。

石巻営業所は市の郊外を南北に縦断して走る国道45号線沿いにあり、ここはまた同業のレンタル屋さんも集中しており競争の激しい地域であります。4,300平方メートル(約1,300坪)の敷地内には地域密着型のレンタル機械が豊富に用意され、お客様の多様なニーズに即応すべく準備万端整えてお待ちしております。三笠製品も上下水道工事の埋め戻し輾圧に最適な油圧パイロコンパクターを筆頭に作業灯付ハンドガイドローラーや4サイクルランマー、プレート等を豊富に採用していただき、お客様のご用命をお待ちしております。

三塚所長はじめ所員の皆様の今後ま

すますのご活躍をご期待申し上げます。

(株)共成レントム石巻営業所

住 所 宮城県桃生郡河南町鹿又字道の前198-1

電 話 0225-86-5588

東北一課 小笠原記

フジヤ機工(株) '99ウキウキ感謝祭開催



長野県に於いて長年三笠の代理店としてご活躍されており、また東京三笠レンタル会の初代会長を務めていただきましたフジヤ機工様(本社・長野県上伊那郡南箕輪村神子柴7408-1 社長・花岡朗殿)におかれましては平成11年9月4日(土)、5日(日)の二日間、本社敷地内にてウキウキ感謝祭と題して展示即売会を開催されました。

ここ数年、毎年展示会を行って来ましたが、98年は景気低迷ということもあり開催しませんでした。99年は多少上向いて来ているので、6月頃より準備をすすめ展示会に臨みました。

当日は2年ぶりの開催ということもあり、待っていましたとばかりに朝から大勢のお客様がきてくださり各コーナーとも大忙しでした。

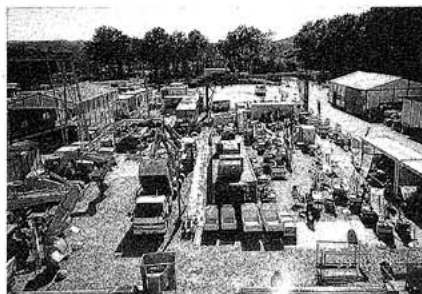
三笠コーナーも長野県下の下水道工事の輾圧機械のスタンダード商品となっているMVH-304DSBパイロコン

パクターをはじめ、新製品MVH-100、MT-52FWランマーやマイコンパイプレーター、プレートコンパクター、カッター等多数ご成約を頂きました。

これもひとえに花岡社長、上条専務をはじめ社員皆様の日頃地元に着した営業とサービス活動の賜物と感謝申し上げますと共に今後益々のご発展をお祈り申し上げます。

長野営業所 石丸記

(株)ユニテス 感謝祭&展示会



(株)ユニテス(湯屋権行社長 本社仙台市)さんにおかれましては、平成11年10月23日、24日の両日、自社敷地内に於いて『お客様感謝祭&激安フェア』と銘打って、レンタル商品(中古)格安大放出の展示即売会を開催された。

初日は風が強かったものの両日も秋晴れに恵まれてお客様の出足も好調で、2千人強の来場者に二日間とも終日大変な賑わいを見せ、大盛況のうちに幕を閉じた。

ユニテスさんでは、近年建設関連機械器具やハウスのリースレンタルのみではなく、産業機械器具やOA機器のリース、レンタルも広く手がけており、昨今の不況風を吹き飛ばすべくそれらの中古品を日頃のご愛顧に感謝を込めてお客様に激安で提供しようとの発案で計画され、さらに建設関連業者さんだけでなく、広く一般のお客様をも対象にして、ユニテスという会社が日頃どういう商品を扱い、またどういう活動をしているのか知ってもらおうという気持ちもこめて展示会を開催された。

一般のお客様も来場されるということで、数々のイベントも用意され、鹿児島産さつま芋の掘り取り大会やお子様たちのためにスタンプラリープレゼント、何でも¥100コーナーも用意され、準備万端お客様の来場をお待ちした。

それでも何といってもメインは激安中古品大放出コーナーが人気爆発で、3時間前から開場を待つお客さんが並ぶなど、予想を上回る反響であった。私ども三笠産業もハンドガイドローラーをメインにランマー、パイプレーターの中古を展示し、数々の成約を頂いた。また幸和機械さん(能代市)も協賛され、三笠のよきライバル?として三笠製品を多数展示され、われわれを上回る成約を決めた由、おめでとうございます。

(株)ユニテスさんの今後益々のご活躍をご期待申し上げます。

東北一課 小笠原記

三笠流 永井 邦

記念すべき2000年がやってきた...



Mikasa プレートコンパクター MVC-40G 耐腐蝕性・走行速度の向上! セルフクリーニング...と



水利工業(株) 35周年記念フェア



東京三笠レンタル会の理事をお願いしております水利工業(株)様(本社 松本市笹部4-26-38 社長 矢崎照男氏)におかれましては平成11年11月16日(火)、17日(水)の二日間、創設35周年を記念して、お客様への感謝の気持ちを込めまして安曇野スイス村において大感謝祭と題し、展示即売会を開催されました。

前日の設営は雨が降る中で行われ、当日の天候が心配されましたが、何とか雨は上がったものの北アルプスから吹き降りしてくる風は大変冷たく、寒い二日間でした。

そんな中でも、お客様が朝早くから来てくださり、各コーナーでは多くのご成約の札が貼られていました。

三笠コーナーにおきましても水利工業様にはレンタル機としていち早く採用して頂きました新製品MT-52FW 4 サイクルランマーやプレートコンパクター、高周波パイプレーター等多数ご成約を頂きました。

これもひとえに矢崎社長をはじめ社員の皆様の日頃の営業とサービス活動の賜物と感謝申し上げますと共に水利工業(株)様の益々のご発展をお祈り申し上げます。

長野営業所 石丸記

三笠クイズ VOL.36

【問題】タテとヨコのかぎを解いて1~5の文字をつなげると、冬にふさわしい言葉が浮かんできます。さて何でしょう。

ヒント

ヨコのかぎ

ア. 菅原道真といえはこの花。「東風吹かば 匂いおこせよ ○○○○ 主なしとて 春な忘れそ」という歌もある。
イ. 菌のお医者さんは歯科、目は眼科、では喉は。
ウ. そんな無体が通るようでは世も○○だ。
エ. ○○より高いものは無い。うまい話には気をつけよう。
オ. 農作物がとれないために食物が不足すること。江戸時代の三大○○○と言えば享保、天明、天保の○○○。

タテのかぎ

A. スコッチ、アイリッシュ、バーボンなどの種類があるお酒といえは。
B. 病原菌や毒素が体に入った場合に、それに対抗する性質が出来ること。
C. 板を曲線に切断するときは糸○○を使います。
D. 三味線にあわせてうたう短い俗謡。江戸中期から末期にかけて江戸市中で流行した。
E. 中ほどがゆるむこと。会議が長びいて○○○のかたちだ。

応募の方法 官製ハガキにクイズの答えと住所、氏名、年齢、職業(会社名)をお書きのうえご応募ください。正解者には抽選の上10名様に記念品を差し上げます。

●あて先 ●101-0064 東京都千代田区猿樂町1-4-3

三笠産業株式会社「三笠ニュース」編集部

●締切り 2000年2月14日閉鎖印有効

VOL.35の答えは「ハイキング」でした。次の10名様に図書券をお送りしました。

中西浩様(熊谷市)山崎朋美様(大船渡市)東郷和彦様(大和市)徳永明美様(鹿本郡)遠藤邦寿様(札幌市)小笠原由美様(山形市)古川みよ子様(新井市)谷中和子様(府中市)諏訪すみ子様(印旛郡)和泉恵子様(木曾郡)